

平成26年度に建設工事で発生した事故事例（架空線損傷事故）

事故概要:

現場事務所に置いてあった仮設トイレをクレーン付トラックにて運搬しようとしていたところ、急にトイレに行きたくなり、運搬先とは逆方向に向かった際、クレーンのブームが格納していない状態であったため、架空線に接触し損傷させた

事故原因:

- ・作業手順が守られていなかった
- ・一人作業による安全確認の不徹底
- ・注意力の低下

改善対策:

- ・安全教育の徹底と安全作業の再確認
- ・一人作業の排除
- ・体調管理の徹底



分類: 準備工、クレーン付きトラック運搬

被害状況: 通信への被害なし

平成27年度に建設工事で発生した事故事例（架空線損傷事故）

事故概要:

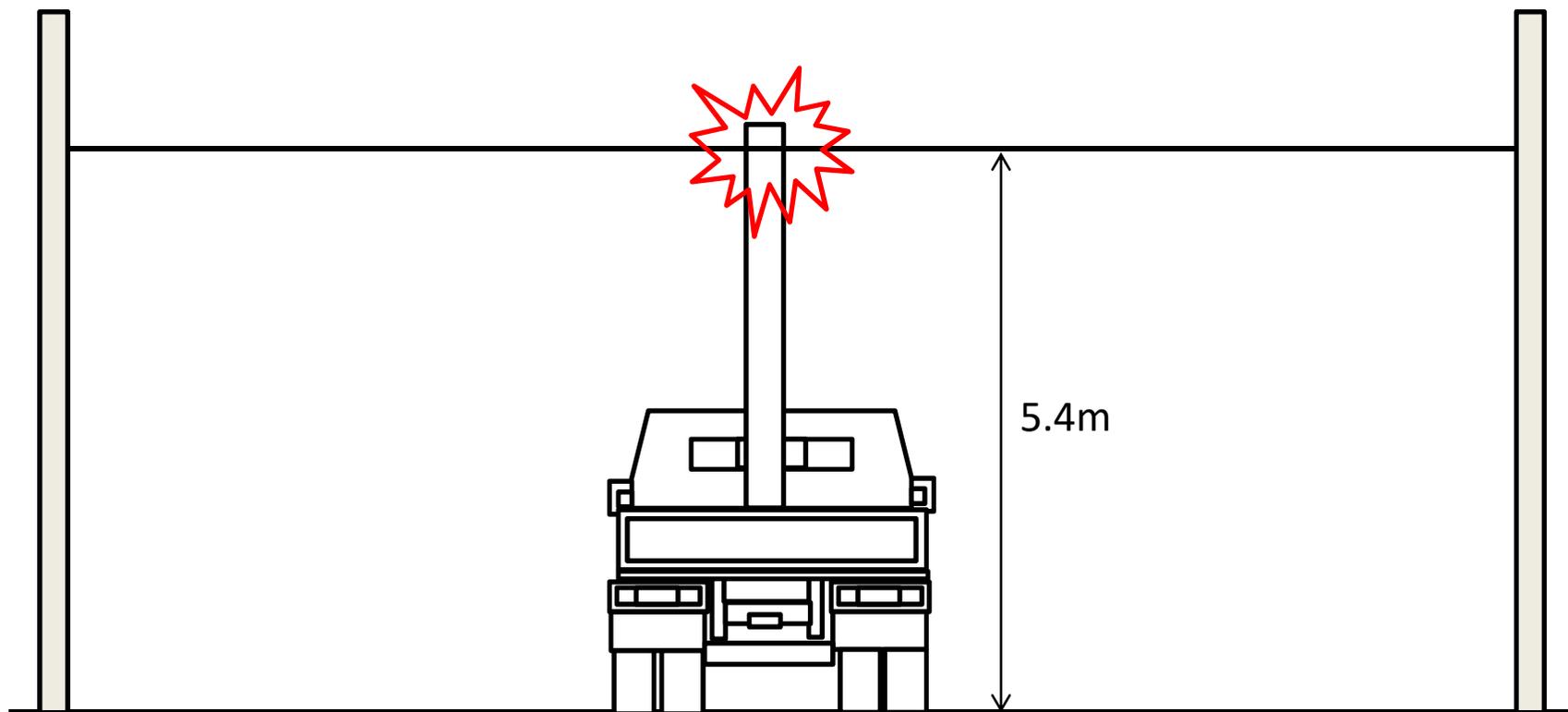
道路工事においてグレーチング撤去・再設置作業後、クレーン付きトラック(3t)を運転手がブームの格納を忘れたまま移動したところ、道路を横断している架空線に接触し、架空線器具を損傷させた

事故原因:

- ・現場監督が作業完了の確認を行っていなかった
- ・運転手がブーム格納の確認を行っていなかった

改善対策:

- ・完了確認の徹底
- ・運転席に格納チェックを促す注意喚起を添付



分類: 準備工、クレーン付トラック運搬

被害状況: 架空線器具の損傷

平成28年度に建設工事で発生した事故事例（架空線損傷事故）

【事故概要】

クレーン付トラックで仮設信号機を運搬中、上がったままのクレーンアームが通信線に引っ掛かり、通信線が弛み大型車輛の通行が困難となった。また、個人宅(2軒)への引き込み線が断線し一時不通となった。

【事故原因】

- ・作業員がアームを格納したと思い込んだ
- ・目視・指差呼称確認を怠った

【改善対策】

- ・確認必須項目を運転席周辺に表示し、運転前の確認を徹底する
- ・安全教育の徹底



分類: 準備工、クレーン付きトラック運搬

被害状況: 通信線の弛み(大型車輛通行困難)、引き込み断線(一時不通)

平成29年度に建設工事で発生した事故事例（架空物損傷事故）

【事故概要】

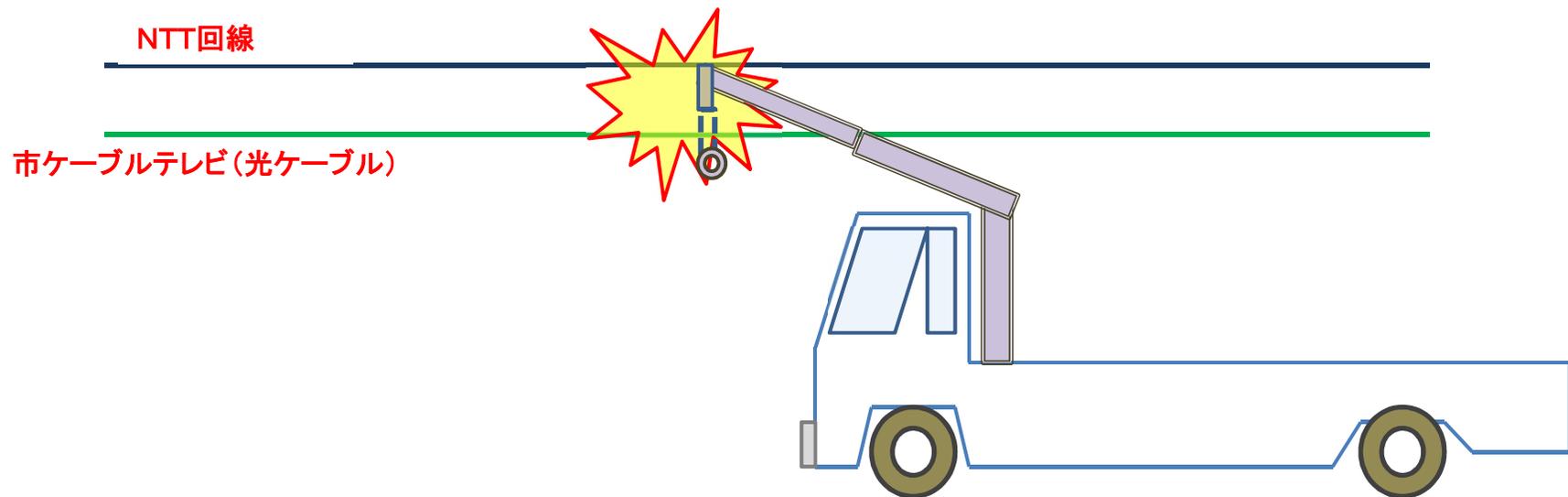
現場事務所（プレハブ）をクレーン付トラック（4t）で運転者がクレーンを操作して設置した。その後、運転者はクレーン付トラックのブームを上げ伸ばしたまま走行したため、市道上空を横断するNTT回線（浄水場異常管理線）と市ケーブルテレビ（光ケーブル）を切断した。

【事故原因】

- ・クレーン作業の無資格者が、クレーンを操作した
- ・作業前に架空線があることを周知していなかった
- ・撤収作業時の安全確認を1人で行っており、クレーンの収納確認を見落とした
- ・架空線の表示措置、防護管の設置を行っていなかった
- ・クレーン未収納時の安全警報装置の無いクレーン付トラックを使用した

【改善対策】

- ・全作業員の保有資格を資格者証等で再度確認する
- ・作業前KY活動において、資格が必要な作業を確認するとともに、有資格者による作業を徹底する
- ・有資格者を計画的に増員する
- ・架空線付近の作業時における誘導員の配置を徹底する
- ・架空線に注意喚起の赤三角旗及び防護管を設置する
- ・運転席に「アウトリガー・ブーム収納確認」のカードを貼る



【分類】 準備工・クレーン付トラック運搬

【被害状況】 NTT回線・ケーブルテレビ通信線を切断 3時間半後に仮復旧完了

令和3年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

【事故概要】

工事実施に先立ち、現場周辺の資材搬入路として使用する民地（借地）へ、養生のため敷鉄板を設置する予定で、敷き鉄板を積載した4tユニック車が当該民地に停車していたが、そこから移動する際、誤って民家ブロック塀に接触し破損した。

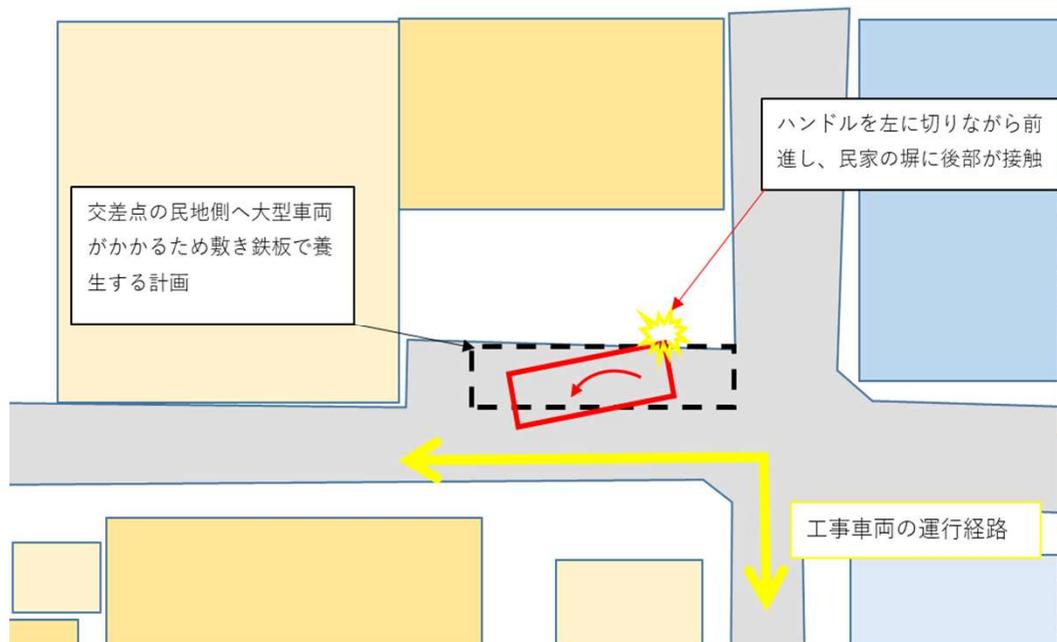
【事故原因】

- ・借地の隣接民家の塀について、接触防止等の安全対策がなされないまま、資材運搬車両を運行した。
- ・車両運転手は、車両（4tユニック）を停車箇所から発車させる際、周囲の安全確認を怠り、ハンドル操作を誤った。

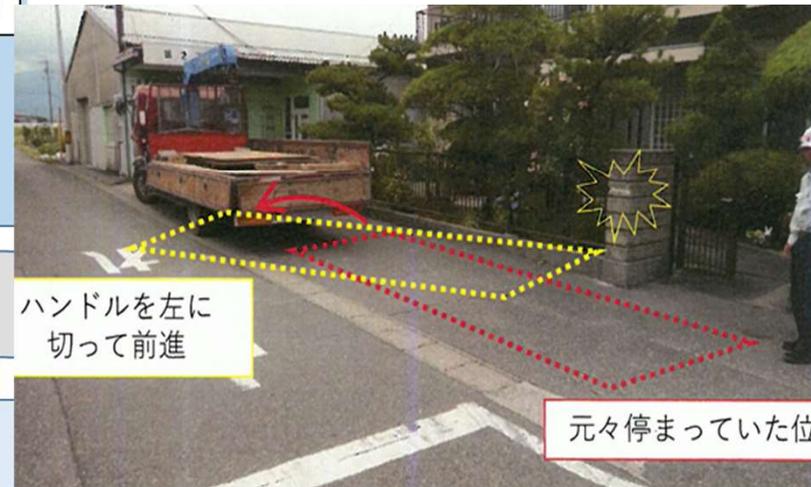
【改善対策】

- ・接触する恐れのある構造物手前に、カラーコーンを設置する等近づかないよう注意喚起をする。
- ・車両移動時には、事故防止のため、誘導員を配置する。

事故現場状況見取り図



事故現場写真



【分類】 準備工、クレーン付きトラック運転

【被害状況】 公衆災害 民家ブロック塀損傷